

# あかね雲

2024.3.29

NO.189



安来市／安来公園の桜

## CONTENTS

- ◆令和5年度認定看護管理者教育課程  
ファーストレベル修了式……………P1
- ◆災害支援ナース養成研修……………P1
- ◆特定行為研修シンポジウム……………P2
- ◆専門性の高い看護師養成に関する情報交換会…P2
- ◆理事会報告……………P3
- ◆島根県看護協会の動き……………P3
- ◆助産師出向支援事業報告会……………P4
- ◆外来における在宅療養支援能力向上のための研修…P4
- ◆看護研修センター将来構想アンケート……………P5
- ◆ナースセンターだより……………P6
- ◆訪問看護支援センター通信……………P7
- ◆あかね雲アンケート……………P8
- ◆お知らせ……………P9





# 看護管理者教育課程実施報告・修了式

専任教員 福田里子

令和5年度認定看護管理者教育課程ファーストレベルは、54名が受講し、52名が修了しました。コロナ禍以降、久々に県外講師の講義が対面で実施できた年となりました。そして、全教育日程を通して、講師との意見交換がより一層活発に行われ、タイムリーで効果的な学習が展開されていました。また、受講者同士でもお互いの課題解決にむけて、活発に情報交換などの交流が行われていました。

問題解決実践報告会では、課題解決の糸口を発見し次の実践につなぐ方向性を見出す有意義な場となりました。発表会にご出席頂いた看護管理者の方々や、メッセージを届けていただいた看護管理者の方々からは、実践への承認や励まし、今後に向けての期待等多くの心温まる言葉を頂きました。修了生の皆様の晴れやかな表情がとても印象的でした。

本教育課程の学びを実践に活かし、今後さらにご活躍されることをお祈りいたします。

## ファーストレベル修了式



## 災害支援 ナース養成研修

災害・新興感染症看護委員会委員長 松本由夏

1月17～18日・2月14～15日の4日間、災害支援ナース養成研修を開催しました。近年日本各地で地震や風水害などの自然災害が起きており、研修への関心度も高く、今年度は過去最高の72名の受講がありました。令和6年4月より改正医療法に基づき『災害・感染症医療業務従事者』としての登録・派遣が始まります。それに伴い、今年度より研修内容も災害編と感染症編へ変更となりました。両日ともグループワークや実技を中心のプログラムで、災害現場や派遣現場をイメージする研修内容でした。

講師は、県内の災害看護専門看護師・感染症認定看護師・クリティカルケア認定看護師・災害支援ナースが中心となり、今年1月1日に起きた能登半島地震での活動内容や、新興感染症看護・集中治療室看護など実際の経験をふまえた講義を実施しました。



# 「特定行為研修シンポジウム」を 開催しました

常任理事 田中真美

特定行為研修修了看護師が在宅療養支援に向けて地域活動の推進を図ることを目的に、1月27日(土)5回目となるシンポジウムを開催しました。講演に続き、各シンポジストから院内・地域での活動の実際、在宅療養支援に向けて病院と訪問看護ステーションの連携による活動について報告がありました。意見交換では、管理者の支援体制、特定行為研修に臨む動機づけについて質問がありました。講師より組織の中のビジョンを達成するためには、自組織での育成・配置・活用を支援していくことが必要であり、研修修了者はモデルとなり実践をしていく中で、研修受講の動機づけとしていくこと、また、メンター体制等組織の中で研修修了者のフォローアップ体制を構築し質保証をしていくこと等のアドバイスがありました。研修修了者からは、修了者間のネットワークづくりの必要性がある等、活発な意見交換の場となりました。



## オンライン講演

テーマ:「国の動向を踏まえた日本看護協会の特定行為研修への取り組み」

講師:日本看護協会看護研修学校認定看護師教育課程 課程長 渋谷智恵氏

## シンポジウム

- 「島根県における特定行為研修制度の現状と課題」
- 「中山間地域における診療看護師の活動」
- 「地域における看護師特定行為について考えるー研修機関の立場から」
- 「訪問看護における特定行為研修修了看護師の活動の現状について」
- 「訪問看護における特定行為活動の取り組み」

島根県健康福祉部医療政策課  
公立邑智病院 診療看護師  
島根県立中央病院 看護局長  
訪問看護ステーションいずも 所長  
特定行為研修修了看護師

糸原美晴氏  
日高美晴氏  
伊藤千加子氏  
福場衣里子氏  
角田奈美氏

# 「専門性の高い看護師養成に関する 情報交換会」を開催しました

常任理事 田中真美

特定行為研修シンポジウムの開催に合わせ、1月27日午前に企画しました。県内の指定研修機関5施設と特定行為修了看護師が在籍している施設管理者との情報交換を行いました。意見や質問に対しては、島根県医療政策課からも島根県の現状や事業の進捗など説明があり活発な情報交換会となりました。令和5年現在の特定行為研修修了者は86名となり年々育成はされてきていますが、研修修了者の活動に向けての環境づくりや地域での活動推進に向けては訪問看護と連携した体制が必要である等の課題が話し合われました。これらの課題を含め、今後も島根県と連携し課題の解決に向けて取り組んでいきたいと思います。





## 令和5年度第6回理事会報告

### 【協議事項】

- |   |    |  |    |
|---|----|--|----|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和6年度重点政策・重点事業、重点課題、基盤強化事業(案)</li> <li>2. 令和5年度委員会報告(職能・常任委員会)</li> <li>3. 令和5年度協会事業・委託事業報告</li> <li>4. 令和5年度支部事業報告</li> <li>5. 令和6年度事業計画(職能・常任委員会・支部)(案)</li> <li>6. 2024年度「看護の日・看護週間」事業について(案)</li> <li>7. 令和6年度島根県看護協会通常総会について(案)</li> </ol> | 承認 | <ol style="list-style-type: none"> <li>8. 令和6年度島根県看護協会職能交流集会について(案)</li> <li>9. 令和6年度島根県看護協会見込み会員数(案)</li> <li>10. 島根県看護協会職員の給与改定(案)</li> <li>11. 島根県看護協会理事報酬規則の変更(案)</li> <li>12. 研修管理システムmanaable導入に伴う受講料の変更について</li> <li>13. 島根県看護協会看護学生奨励表彰選考について</li> </ol> | 承認 |
|---|----|--|----|

### 【報告事項】

1. 令和6年能登半島地震に係る義援金の支出について
2. 令和6年度日本看護協会通常総会に向けた代議員研修会の開催について
3. 看護協会の動き(12月・1月)【書面報告】

## 令和5年度第7回理事会報告

### 【協議事項】

- |   |    |  |    |
|---|----|--|----|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和6年度重点政策・重点事業、重点課題、基盤強化事業</li> <li>2. 令和5年度事業報告(案)</li> <li>3. 令和5年度委員会報告(職能・常任委員会)</li> <li>4. 令和5年度協会事業・委託事業・訪問看護支援センターナースセンター事業報告</li> <li>5. 令和5年度支部事業報告</li> <li>6. 令和6年度事業計画(案)</li> <li>7. 令和6年度事業計画(職能・常任委員会)(案)</li> <li>8. 令和6年度事業計画(事務局・訪問看護支援センター・ナースセンター)(案)</li> </ol> | 承認 | <ol style="list-style-type: none"> <li>9. 令和6年度支部事業計画(案)</li> <li>10. 令和6年度収支予算(案)</li> <li>11. 令和6年度島根県看護協会通常総会について(案)</li> <li>12. 令和6年度島根県看護協会職能交流集会について(案)</li> <li>13. 令和6年度島根県看護協会長表彰推薦について(案)</li> <li>14. 特定資産取得資金・改良資金の積み立てについて</li> <li>15. 看護研修センター運営基金の設置管理運営及び処分に関する規定の変更(案)</li> <li>16. 島根県看護協会嘱託職員就業規則等の変更(案)</li> </ol> | 承認 |
|---|----|--|----|

### 【報告事項】

- |  |  |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日本看護協会第6回理事会・法人会員会報告</li> <li>2. 2024年度「看護の日」記念のつどい(案)</li> <li>3. 第2回 全国職能委員長会報告</li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>4. 島根県看護協会会員数【書面報告】</li> <li>5. 看護協会の動き(1月・2月)【書面報告】</li> <li>6. 島根県看護協会の今後の主な事業予定</li> </ol> |
|--|--|

## 島根県看護協会の動き(2023年度1月・2月)

項目	月 日(曜)	実施事項	出席者	場所
日本看護協会	1月16日(火)	JNA能登半島地震に関する現状報告会	池田会長他	WEB開催
	1月18日(木)	JNA能登半島地震に関する現状報告会(管理者向け)	池田会長他	WEB開催
	2月14日(水)	看護サミット	池田会長、田中理事	東京フォーラム
	2月21日・22日(水・木)	日本看護協会理事会	池田会長	JNAホール
	2月29日(木)	2023年度地域に必要な看護職確保推進事業事業報告会	池田会長他	WEB開催
島根県看護協会	1月27日(土)	特定行為研修情報交換会・シンポジウム	池田会長他	看護研修センター
	1月28日(日)	3協会合同研修会オンライン研修	池田会長他	看護研修センター・一部WEB
	2月 2日(金)	常務理事会	池田会長他	看護研修センター
	2月 8日(木)	第6回理事会	池田会長他	看護研修センター
	2月16日(金)	ファーストレベル実践報告会・修了式	池田会長他	看護研修センター
島根県	2月 6日(火)	島根県原子力災害医療関係機関連絡会議	原理事	WEB開催
	2月26日(月)	しまね女性会議理事会	池田会長	島根県市町村振興センター



# 「助産師出向支援事業報告会」を 開催しました

常任理事 田中真美

3月23日(土)令和5年度助産師出向支援事業報告会を開催しました。

本事業は、地域における助産師の遍在是正や助産師実践能力の強化等を目的に実施し9年目となります。今年度は、応援出向1組と研修出向4組のマッチングがありました。応援出向では、電子カルテや業務も異なることからペアナース看護体制で対応したこと、出向者からは、日ごろ経験できない看護業務の体験や妊婦とプライマリーで関われる経験が貴重であったこと等の報告がありました。研修出向では、出向者から妊婦の産む力をまつ自然分娩対応の必要性を学んだこと等報告がありました。出向先の看護管理者からは、経験事例を振り返り自信につなげていくこと、これから始まる育児に備えて出産時家族を巻き込みながら対応すること等、キャリアを積んでいく助産師にエールとなる内容でした。

島根県における医師不足等の状況から助産師が自律した対応が求められることからこの事業を活用しスキルアップしていくことの必要性を認識することができ充実した報告会となりました。



## 応援出向：松江市立病院から公立邑智病院

出向先看護管理者 田中弓子氏

出向助産師 (松江市立病院) 波田野綾菜氏

## 研修出向：松江市立病院・雲南市立病院から マザリー産婦人科医院

出向先看護管理者 高見幸絵氏

出向助産師 (松江市立病院) 來間なつ美氏 (雲南市立病院) 狩野梨沙氏

## 研修出向：島根大学医学部附属病院・島根県立中央病院から江田クリニック産婦人科

出向先看護管理者 安食理津子氏

出向助産師 (島根大学医学部附属病院)日野彩乃氏 (島根県立中央病院)松本紗枝氏



# 「外来における 在宅療養支援能力向上のための研修」報告

看護師職能I委員長 大岡恵利子

令和5年12月23日(土)島根県看護協会研修センターにおいて開催しました。参加者は19施設50名でした。地域包括ケアが進む中在宅療養支援に取り組むうえで、各施設の外来の役割は重要となってきています。研修は、島根県健康福祉部医療統括監谷口栄作先生から島根県の医療・介護需要、医療・介護提供側の状況等の講義の後、外来現場での在宅療養支援の在り方についてグループワークを行いました。気になる患者には声をかける、気持ちを聞き取り必要な支援を一緒に考えるとといった姿勢の重要性や多職種連携、人員の確保の課題など共有することができました。同じ現場で働く看護師が集まり思いをともにしたことは大きな学びとなりました。看護の現場は地域へと広がりつつあります。連携を保ちながら患者支援に取り組んでいきたいと思ひます。

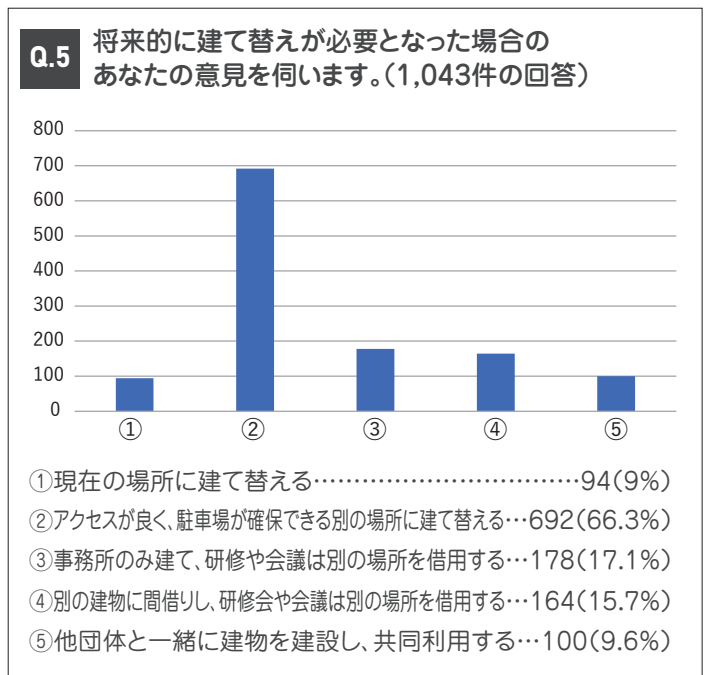
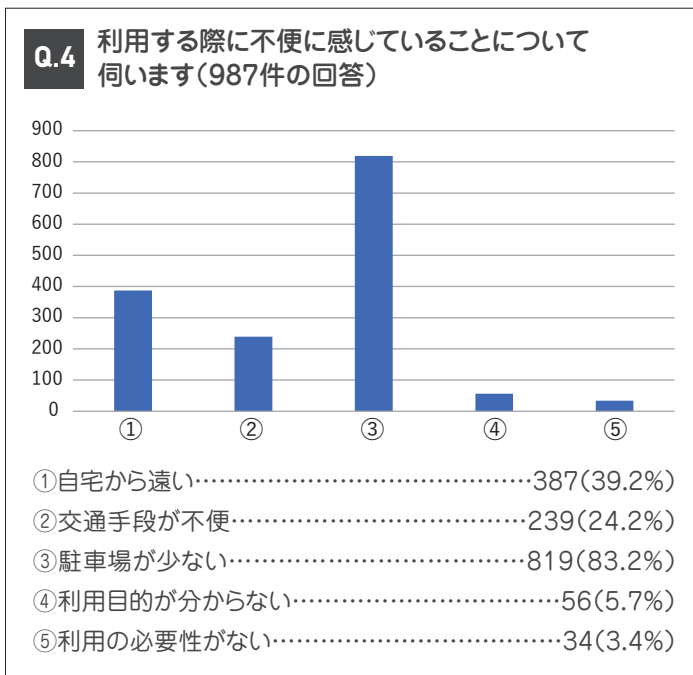
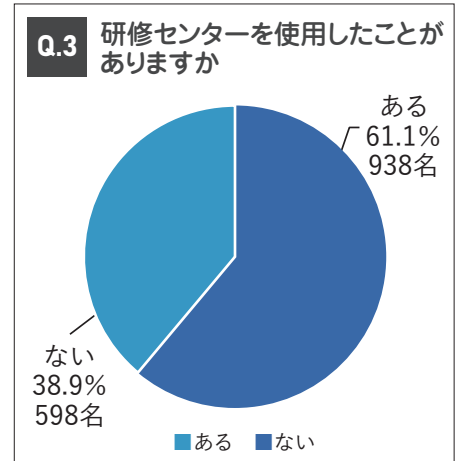
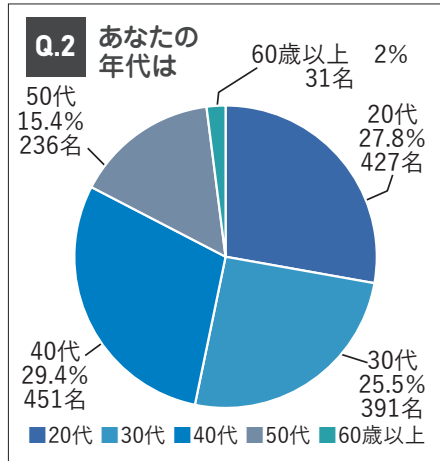
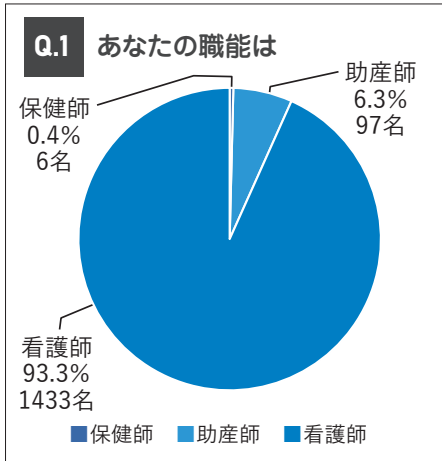


# 島根県看護研修センター将来構想アンケート

はじめに

看護研修センターの本館は昭和58年に竣工し41年が経過しました。別館は平成23年に土地・建物を購入し改修工事を行っていますが、建設からは45年が経過しています。令和3年に実施した建物調査の結果、本館は地震災害等での倒壊の危険性は低いと評価されましたが、別館は構造体の劣化が著しく、耐震補強工事の可否を含めて今後の対応が課題となっています。今後、看護研修センターの建て替え・移転等を視野に入れた将来像について検討し、計画的な準備が必要になっています。そこで、会館管理運営委員会では、会員の皆さまを対象に、令和5年12月に「島根県看護研修センター将来構想アンケート」を実施しました。紙面およびWEBから全会員の26.6%に当たる1,536名の皆さまから回答をいただきました。

会館管理運営委員会



## ご意見

- 駐車場が少ない(複数)
- 西部から松江は遠いので、東部と西部の中間点(せめて出雲)にセンターがあるとよい(西部地区からの意見複数)
- 西部からは交通費・宿泊費等が発生するなど費用負担が大きい
- 看護協会は、県下の看護師が集まる場として必要不可欠。間借りではなくきちんとした建物を希望する
- WEB講義を受ける設備を整えてほしい
- 現地建て替え、維持費など会費が増えるとなると負担が増すので、意見を再度募った方がよい

## あとがき

このアンケートは、今後の医療・看護を取り巻く社会情勢や会員数に伴う変化等を鑑み、繰り返し実施していきたいと思っております。また、結果は、別館の耐震調査も含め、今後の将来構想の検討に役立てていきたいと考えています。ご協力ありがとうございました。







## プラチナナース研修

2月21日プラチナナース研修を行いました。「プラチナナース」とは「定年退職前後の就業している看護職員」の呼称です。50歳以上の看護職28人の参加がありました。「定年後の生活を安心して迎えるために」のテーマで、活用できる制度や年金などについて、特定社会保険労務士の村松文治先生の講演と交流会として現役で働く70歳の看護師さんの体験発表や質問・意見交換を行いました。制度やお金の事で「難しかった」との声もありましたが、「学ぶきっかけになった」「年金に興味を持った」「今後も開催してほしい」という声もありました。「70歳でも生き生きと働く先輩看護師から力(元気・パワー)をもらいました」「元気に働き続けることが大切だと思った」等、この研修がセカンドキャリアを考えるきっかけになったと思います。



## 輝くプラチナナース 三再就業への道三

加藤優子さん

看護師資格取得後、40数年看護師として、開業医・作業所・病院など数カ所ですべて懸命に頑張っていました。若い頃は家事や子育て、仕事にと一生懸命だったと思います。振り返れば、年齢を重ねるとともに精神的に余裕もできて日々充実して仕事ができたと感じています。退職前には特に携わりたかった訪問看護に携われ、病棟では学びきれない様々なことを経験し学ぶ事ができ、利用者様には感謝され、同僚には慕われてきました。退職後には、ゆっくり休んで家の事や何か今までできなかったことをしてみようと考えていました。2~3カ月経った頃、やはり「仕事をしてみたいな」「誰かの役に立ってみたい」とそんな思いがしてハローワークに出かけてみましたが、私の希望とはマッチしなかったため諦めました。その後約1年経った時、ナースセンターから連絡をもらい最後のチャンスと思って相談に行きました。親身になって私の条件を聞いて事業所を紹介していただきました。現在は、パートで月に6~7回デイサービスで看護師として勤務しています。勤務日数が少ないので毎日がほどよい緊張感と楽しさも増えています。

スタッフの方々にも恵まれ頑張ることができています。フルタイムとは違い時間に余裕があるので趣味活動もでき日々充実しています。これからも頑張りたいと思います。



## ナースセンター

## 救護登録のお願い



ナースセンターでは施設や行政、学校からスポーツ大会の救護・企業の健診・各種イベント救護などの依頼があります。単発のお仕事を希望される方は事前に救護登録申請が必要です。又、登録された方を対象に年に1回救護登録者講習会を実施しています。

### 救護をした人の声

岩田春子さん

救護は、持てる知識と技術を生かし、素早い判断と対処、ドキドキワクワクのやりがいのある仕事。常にブラッシュアップが重要です。

佐藤資子さん

救護の仕事は、病院ではできない経験ができる楽しさがあります。研修で応急処置等も改めて学ぶことができるので心強いです。

佐藤あゆみさん

医師の帯同がないことが多く、状況の判断に知識や経験が活かされます。幅広い症例を経験できスキルアップにつながるお仕事です。



救護登録員研修の様子

救護登録を希望される方は島根県ナースセンターにお問い合わせください。

# 訪問看護支援センター通信

## 研修報告

### 島根県訪問看護ステーション協会・介護支援専門員協会 ・看護協会(3協会)合同研修

本研修は、2014年より3協会合同研修として、互いの専門性が見えにくい中で、在宅療養を支える医療、福祉、介護の多職種連携の場を確保する目的もあり開催されてきました。今年度は、『地域での専門職としての価値を高めるー訪問看護師の立場からー』と題し、株式会社花みずきナーステーション代表取締役 高橋京子氏にご講演をいただきました。講師の長年にわたる地域や在宅での経験からの講演が、各職種に共通する連携の場面を想起させる内容であり、参加者の熱心に聞き入る様子が伺えました。さらに、専門職間の連携のレベルを提示され、共通理解できたことで今後の連携の際に「現場で即実践していきたい」と参加者から多くの声があり、盛会のうちに終了となりました。なお、本研修は、開始当初の目的を十分に為したとして今年度をもって終了いたします。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

令和6年1月28日開催

参加者 計83名

看護師42名、介護支援専門員36名、

その他5名



講師 高橋京子氏

## 事業報告会

3月9日開催

### 新卒等訪問看護師育成事業報告会

今年度は、浜田市にある複合型小規模多機能ほっとの家が新卒訪問看護師を採用され、事業に参加されました。『島根県新卒訪問看護師育成プログラム』を基に、独自のプログラムを作成され、育成・支援にあられた1年間を振り返って新卒看護師、指導者、管理者から報告をいただきました。また、本事業を活用し5年目となられた先輩訪問看護師からの報告、島根県立大学准教授加藤典子先生から「新卒からの訪問看護」についてもご講演いただきました。ご参加の県内看護師養成校の先生から「しっかりとサポートされていることがわかった。訪問看護に就きたいという学生がいたら自信をもって勧められる。」と感想をいただきました。新卒での就職・採用をご検討の方は、ぜひご連絡をお待ちしております。



### 訪問看護ステーション出向研修事業報告会

○参加者59名 ○事業6年目で過去最多の6組の出向参加!

出向看護師おひとりおひとりの学びの深さに感動が広がりました。また訪問看護ステーションと病院の双方向の学びあいや出向後の業務改善の取組に出向研修の意義を改めて実感しました。西部の病院からの参加もお待ちしています。



今年度出向研修参加施設 病院4カ所、訪問看護ST6カ所

- 松江医療センター⇒訪問看護ステーションやすらぎ
- 松江医療センター⇒訪問看護ステーションあゆみ
- 松江市立病院⇒訪問看護ステーションいつくしみ
- 県立中央病院⇒ひかわ生協訪問看護ステーションチューリップ
- 県立中央病院⇒出雲看護サービスセンター
- 島根大学病院⇒高砂訪問看護ステーション



## 訪問看護相互研修

島根県より今年度、新たに委託を受けた訪問看護相互研修は、病院や訪問看護ステーション等の看護師が、相互交流による研修を通じて相互の現状や専門性を理解し、自施設での看護の質の向上を図ることを目的としています。

令和6年度からは、新たに、訪問看護ステーション等看護師が、病院で研修を受講できる体制を整えていく予定です。

病院の方に研修受入機関としてご協力いただくとともに、訪問看護ステーションの皆様には、是非受講していただきますようお願いいたします。



- 対象**
- ① 病院看護師
  - ② 訪問看護ステーション等の看護師

### 研修の種類

(1) 訪問看護ステーション等と病院の相互研修

- ① 病院看護師が訪問看護ステーション等で研修
- ② 訪問看護ステーション等看護師が病院で研修

(2) 訪問看護ステーション間の相互研修

**研修日数** 1人1~3日  
(研修生のニーズに合わせて柔軟に対応)

### スケジュール(予定)

令和6年6月 研修受入機関の募集・公表

令和6年7月~令和7年2月

研修受講の申込・研修受講期間

**R6年度から  
NEW**

ご協力、ご参加をお待ちしています

## 広報委員会

島根県看護協会では、情報誌『あかね雲』を年5回発行しています。より興味をもって身近に感じていただけるような広報誌の発行を目指しアンケートを実施しました。

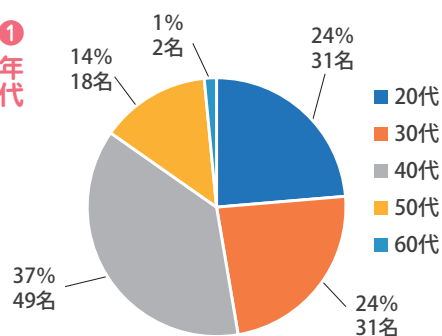
# ニーズに沿った『あかね雲』を目指して

令和5年度

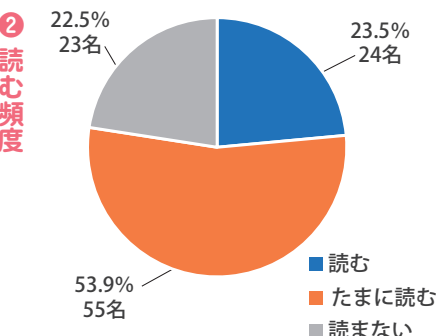
## 情報誌「あかね雲」アンケート結果

アンケート回収数：131名(全140名)  
有効回答率：93.5%  
(アンケートは紙面回収。  
7圏域、7施設に20部送り郵送回収)

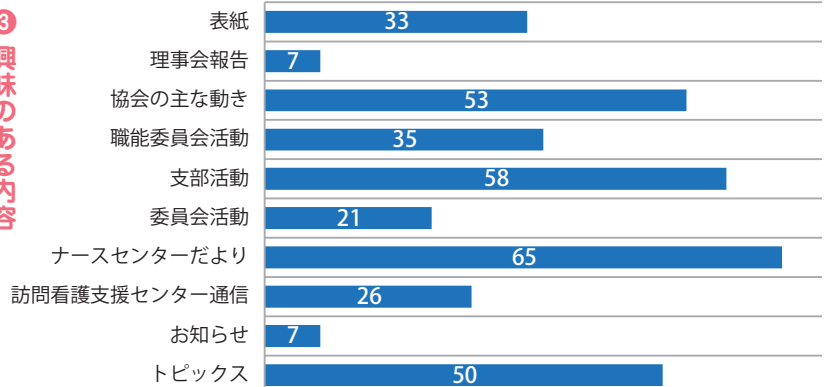
① 年代



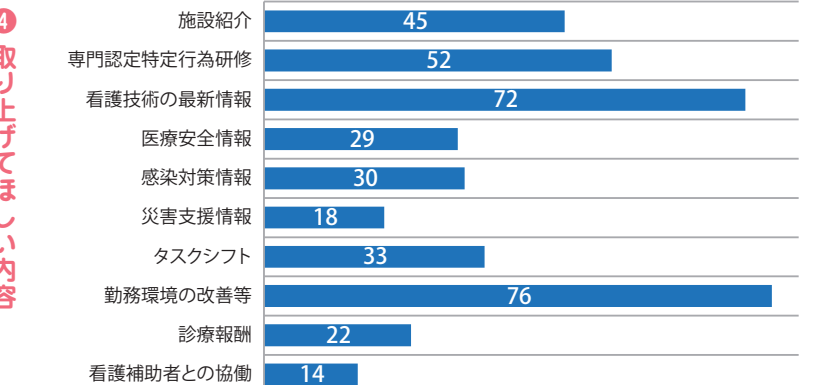
② 読む頻度



③ 興味のある内容



④ 取り上げてほしい内容



まとめ

「興味のあるもの」「今後取り上げてほしい項目」は、会員の皆様が現場で求めている内容であると思います。

今後このアンケート結果を踏まえた内容を検討し、皆様により興味を持っていただき身近に感じてもらえるような情報誌としてお届けしたいと思っています。

アンケートにご協力いただきありがとうございました。

# 看護協会にも春がやってきました

朝晩はまだまだ冷え込みますが、看護協会にも、昨年秋に職員で植えたチューリップやアネモネが芽を出し、徐々に花を咲かせています。黄色や紫、ピンクなどかわいいお花が来所者さまをお迎えます。



## あべ俊子先生 来館

2月28日(水)あべ俊子衆議院議員が島根県看護協会・看護連盟を訪問され交流しました。訪問看護の課題について意見交換し、説得力のある先生のことばに、一同やる気と元気をいただきました。



## お知らせ

### 「看護の日」記念のつどい

日程: 令和6年5月18日(土) 10:00~12:00  
会場: サンラポーむらくも

### 島根県看護協会通常総会

日時: 令和6年6月15日(土) 13:30~16:00  
会場: ビッグハート出雲

### 看護師職能Ⅰ・看護師職能Ⅱ交流会

日時: 令和6年6月15日(土) 10:00~12:00  
会場: 出雲医療看護専門学校

### 助産師職能交流会

日時: 令和6年6月15日(土) 10:00~12:00  
会場: ビッグハート出雲 茶のスタジオ

### 保健師職能交流会

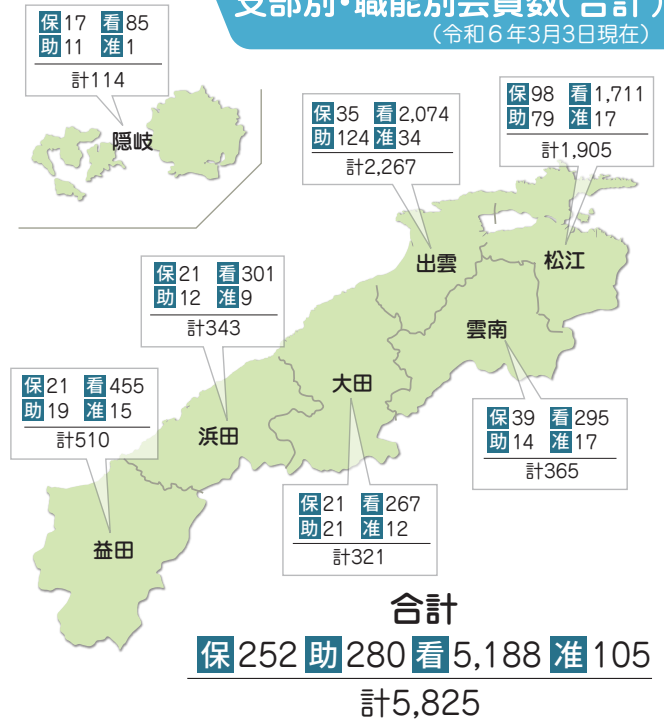
日時: 令和6年6月16日(日) 13:00~16:00  
会場: パルメイト出雲

### 第17回島根看護学術集会

日時: 令和6年7月13日(土) 10:00~15:00  
会場: ビッグハート出雲

## 支部別・職能別会員数(合計)

(令和6年3月3日現在)



### 編集後記

暖かな春の日差しに包まれる季節を迎えました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

希望に満ち溢れた新人看護師を迎えて、新年度の新たな目標に向かって一緒に頑張っていきましょう。

皆様方が、元気でご活躍をされますようお願いしています。 広報委員会



【発行日】令和6年3月29日 【発行責任者】池田 康枝 【編集】公益社団法人島根県看護協会  
〒690-0049 松江市袖師町7-11 TEL.0852-25-0330 FAX.0852-25-3157  
<https://www.shimane-kango.or.jp> E-mail:shimakk@shimane-kango.or.jp

